

後三条の改革

1 **後三条** 1068~72 摂関家を外戚としない→藤原頼通(前関白)・^{のりみち}2 **教通**(関白)兄弟と対立
 →中下級貴族(受領層)が天皇のもとへ結集 学者・実務官僚の登用
 <例>^{まさふさ}3 **大江匡房**(儀式書『^{ごうけしだい}4 **江家次第**』)

5 **延久の荘園整理令** [61069]

- (a) 寛徳2年(←前々回の整理令)以後の新立荘園
 - (b) 書類不備の荘園
 - (c) 国務に支障のある荘園
- } 停止

→摂関家を含め有力貴族・寺社も例外とせず→かなりの成果→天皇権威回復・摂関家に打撃

8 **記録荘園券契所** (⁹記録所)設置 [1069] <例>^{いわしみずはちまんぐう}岩清水八幡宮領 3 4 → 2 1

太政官に付属→¹⁰中央で統一的に整理 ※従来は国司任せ

¹¹内裏造営を計画…荘園公領区別なく全国一律に課税(¹²**一国平均役**)

¹³**宣旨** 制定 [1072] …¹⁴柁の大きさを統一

院政の始まり

¹⁴**白河** 1072~86 後三条の子 摂関を外戚としない ※後三年合戦(1083-87)

¹⁵1086. 子の¹⁶**堀河天皇**(8歳)に譲位 →¹⁷上皇(院)として政治=¹⁸**院政**の始まり

院政の**特徴** 院政を行うのは天皇の父・祖父など¹⁹天皇家の家父長 ※「^{ちてん}20 **治天の君**」という

※背景に婚姻形態の変化…婿取りから嫁入りへ(男系重視)

「律令」外の存在 →法・慣例を無視できる →私的な専制政治

機構 ²¹**院庁** …政務機関 官人を²²院司という

²³院庁下文(公的・公文書)や²⁴**院宣**(私的・直接)を出す

支持層 主に²⁵中下級貴族(受領層)…反摂関家勢力の結集

²⁶**院の近臣** …院の側近 后妃や乳母の一族など <例>^{はむろあきたか}葉室顕隆

軍事力 ²⁷**北面の武士** (院の御所の北に置かれた警備の武士)

財源 ①受領層の²⁸**成功** ②院の²⁹**荘園**

③院の³⁰**知行国** (³¹**分国**) …国の実権を特定の人物(→³²知行国主)に与える制度

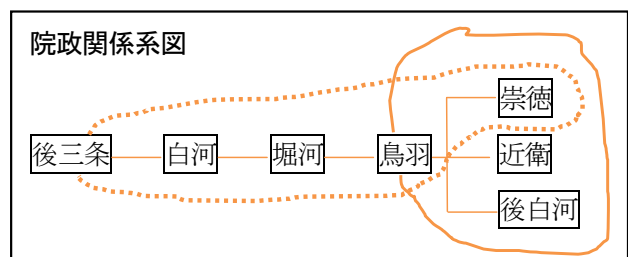
… 国司の任免権や公領収入の大部分など

☆三代約1000年が全盛

³³**白河院政** [1086~1129]

→³⁴**鳥羽** 院政 [1129~56]

→³⁵**後白河** 院政 [1158~79, 81~92]



院政と荘園

(1) 荘園の急増…特に³⁶鳥羽院政期以降 ☆³⁷院が最大級の荘園領主

〈例〉³⁸八条(女)院領(³⁹鳥羽院から皇女八条女院へ 100箇所→のち220箇所)

⁴⁰長講堂領(⁴¹後白河院から長講堂へ 90箇所→のち180箇所)

(2) 荘園の本格化…自立傾向も強まる

11世紀後半以降、⁴²領域型荘園(田地だけでなく村落や周囲の山川なども含める)が増加

⁴³不輸・不入の一般化 →⁴⁴不入は警察権の排除にまで拡大

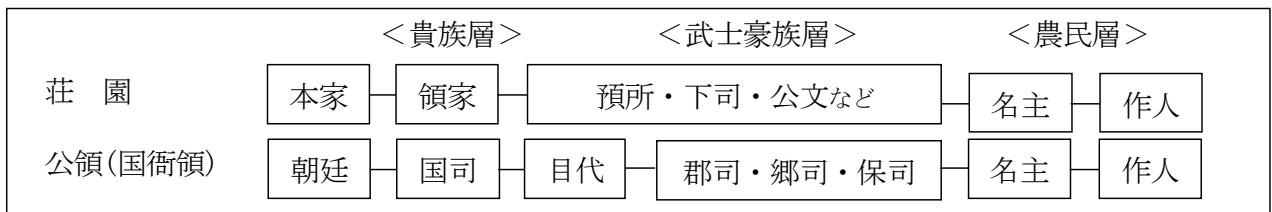
(3) 公領(公田)の変化…国司による支配強化・再編成 ※延久の荘園整理が契機(きっかけ)

①公領は実質的には(国司に従う)地方豪族や開発領主が支配している(古代の郡の範囲は無意味)

→国司は彼らの勢力範囲ごとに公領を再編成(⁴⁵郡・郷・保)し、

彼らを⁴⁶郡司・郷司・保司に任命して徴税を請け負わせる

②受領は交替の時のみ赴任…現地には目代を派遣



☆公領も⁴⁷実態は荘園と同じ…⁴⁸国衙領と呼ぶ(国司が領家、朝廷が本家にあたる 農民層は同じ)

このような土地制度全体を⁴⁹荘園公領制と呼ぶ。

☆当時、⁵⁰荘園と公領はほぼ半々

正誤問題練習 <大学入試センター1992年本試験、95年追試験>

①延喜の荘園整理令によって記録荘園券契所が設置され、成立年代などで基準に合わない荘園は停止された。

②院政期には、成功や重任を禁止し、摂関家の経済的基盤であった知行国制を廃止した。

院と僧兵と武士

三上皇(白河・鳥羽・後白河)とも造寺・造仏などに熱心 ※出家して「1法皇」となる

〈例〉2六勝寺 (3法勝・尊勝・最勝・円勝・成勝・延勝) 4熊野詣 ・ 5高野詣の盛行
莫大な費用→6成功・重任の増加をまねく

寺社勢力の強大化…広大な荘園 7僧兵 を組織(下級僧侶など)→朝廷等に 8強訴

〈例〉9興福寺(「10南都」)…11春日神社の12神木と共に上洛 …「奈良法師」)

13延暦寺(「14北嶺」)…15日吉神社の16神輿 // …「山法師」)

※白河の「17天下三大不如意」…「18鴨川の水・双六の賽・山法師」 →武家を起用

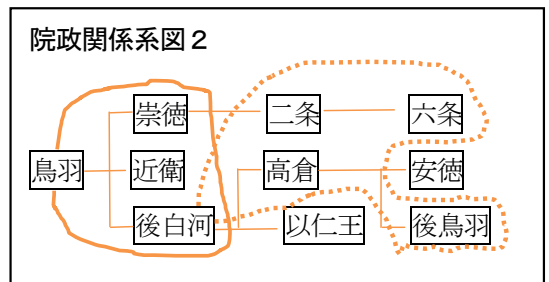
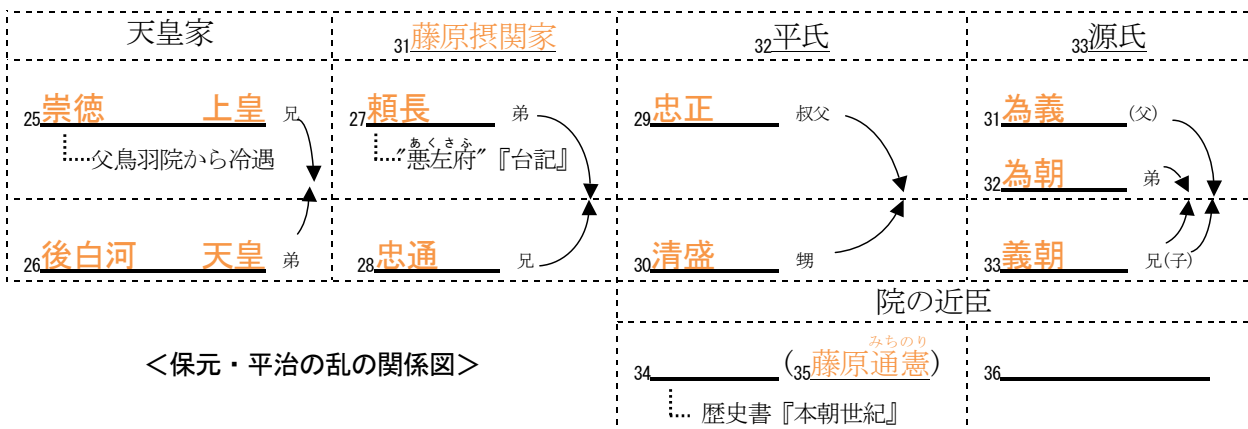
源氏 : 19源義家の活躍 「八幡太郎はおそろしや」…白河院への昇殿を許される(白河院政期)

→その子の 20義親 が出雲で反乱[1107~08] →源氏勢力やや衰退

平氏 : 21平正盛 …22源義親の乱を鎮圧(追捕使)…白河院の信任

→その子の 23忠盛 が 24瀬戸内海 の海賊を平定…内裏への昇殿を許される(鳥羽院政期)

平氏政権の誕生



平氏政権 ⁴⁶六波羅 政権とも 初の武士政権 当初は ⁴⁷後白河院政下で(院近臣として)
.....平家一門の邸宅のあった鴨川東岸の地名荘官の一種 荘園・公領の現地管理

(a) 地方武士の組織に着手...主に⁴⁸畿内・西国 家人(家臣)を⁴⁹地頭に任命することで地位を保障

(b) ⁵⁰日宋貿易の積極活用...⁵¹宋(南宋)の商船との⁵¹私貿易 平忠盛以来 背景に貴族の⁵²唐物珍重

環境整備：⁵³大輪田泊 (のちの⁵⁴兵庫港)の修築 ⁵⁵音戸瀬戸(安芸国の海峡)の開削

輸入 ⁵⁶宋銭 ・ ⁵⁷陶磁器・香料・書籍・高級絹織物など

輸出 ⁵⁸金 ・ ⁵⁹硫黄・木材・刀剣・漆器など

(c) ⁶⁰高位・高官の独占 <例>清盛 ⁶¹太政大臣に[⁶²1167]...武士としては初

(d) 多数の荘園・知行国

(e) ⁶³外戚政策...清盛の娘⁶⁴徳子 (建礼門院)を⁶⁵高倉 天皇の中宮に→1178. 言仁親王を生む

→藤原氏政権と同じ性格 ...旧勢力と対立

1177. ⁶⁶鹿ヶ谷事件(鹿ヶ谷の陰謀) ...平家打倒の密談→⁶⁷藤原成親・⁶⁸俊寛・西光ら処罰

1179. 清盛によるクーデター→⁶⁹後白河法皇幽閉と多数の貴族の処罰

→平家の独裁体制...公卿16人・殿上人30余人 ⁷⁰荘園500余ヶ所・⁷¹知行国30余国(受領含む)

1180. ⁷²安徳 天皇 (言仁親王：清盛の外孫)即位→父の高倉上皇が院政[1180-81]

さらに、⁷³福原 (のちの神戸市)への遷都を強行

正誤問題練習 <大学入試センター1990年本試験、95年本試験>

- ①興福寺や延暦寺は、僧兵を組織して、神木や神輿をもって朝廷に強訴し、要求を通そうとした。○
- ②平治の乱で勝利を取めた平清盛は、乱後、後白河院政のもとで中央政界での地位を高めた。○

名称と時期 院政期文化 1 2 世紀

特色 ①文化の地方への普及 <例>浄土教の地方普及←武士・^{ひじり}聖 (民間の布教者)の活動
②武士の台頭を反映 ③庶民文化の萌芽

建築 1 中尊寺金色堂 [岩手]…奥州 2 平泉 3 藤原清衡 一面に黒漆・金箔
※須弥壇下に藤原 3 代(清衡・基衡・秀衡)のミイラ

4 毛越寺 [岩手]…平泉 藤原基衡 庭園のみ現存

5 白水阿弥陀堂 (願成寺阿弥陀堂) [福島]…奥州藤原氏と関連 金色堂を模す

6 富貴寺大堂 [大分]…阿弥陀堂 九州現存最古の建造物 “^{ふき}露の大堂”とも

7 巖島神社 社殿 [広島]…古来の航海神 平氏の帰依で発展 “安芸の宮島”

8 三仏寺投入堂 [鳥取]…修験者の行場

9 浄瑠璃寺本堂 [京都南部]…現存唯一の九体阿弥陀堂 内部に九体阿弥陀仏
ほかに、鶴林寺常行堂・太子堂 [兵庫] など

彫刻 10 臼杵の磨崖仏 [大分]…日本最大 60 体以上

ほかに、大山寺阿弥陀堂 [鳥取] 阿弥陀如来像、三千院 [京都] 阿弥陀三尊像

絵画 11 絵巻物…大和絵の技法 絵と詞書(ことばがき) 物語や説話に題材

<例> 『12 源氏物語絵巻』…藤原隆能(絵)・藤原伊房(書)作 ^{ひきめかぎはな}引目鉤鼻・^{ふきぬけやたい}吹抜屋台

『13 伴大納言絵巻』…14 応天門の変を題材 常磐光長作

『15 信貴山縁起絵巻』…信貴山朝護孫寺 [奈良] ^{ひじり}聖 命蓮の奇跡譚を題材に

『16 鳥獣戯画』…17 高山寺 [京都] 所蔵 伝 18 鳥羽僧正 (^{かくゆう}覚猷) 作 動物の擬人化他

ほか、『^{こかわ}粉河寺縁起』、『病草紙』、『年中行事絵巻』(常磐光長 模本のみ現存)

装飾経 <例> 『19 扇面古写経』…20 四天王寺 [大阪] 所蔵 下絵に庶民の生活

『21 平家納経』…22 平清盛が巖島神社に奉納 高度な装飾技術

書道 法性寺流…関白忠通の書風 世尊寺流に力強さを加える

芸能 23 今様…民間の流行歌謡 七五調・四句が多い ^{しらびょうし}白拍子(男装の遊女)の舞

→ 『24 梁塵秘抄』 (25 後白河法皇 が編纂)

極楽浄土のめでたさは ^{あだ}一つも空なることぞ無き ^{たえ のり}吹く風立つ波鳥も皆 妙なる法をぞ唱ふなる

26 田楽…農村の労働歌舞 (<例>田植) →都市で芸能化

27 猿楽…土俗的芸能の総称 中国伝来の ^{さんかく}28 散楽 に由来

※ 『29 新猿楽記』…猿楽見物の人々を描く 11 C 半ば成立 ※大名田堵も登場

30 催馬楽…民間の歌謡に歌詞を取り、雅楽の曲調に当てはめる

他に ^{かぐら}神楽(神事芸能)・^{くぐつ}声明・31 傀儡(歌に合わせる人形回し) など

文芸 歴史物語…和文による物語風歴史書 ※『本朝世紀』(藤原通憲)など漢文体の史書もあった

<例> 『³²栄華(花)物語』…編年体 宇多～堀河天皇 道長の栄華を賛美 あかぞめえもん 赤染衛門作?

『³³大鏡』…紀伝体 文徳～後一条、藤原冬嗣～道長 道長に批判的

『³⁴今鏡』…紀伝体 後一条～高倉天皇 →“四鏡”(大鏡・今鏡・水鏡・増鏡)へ

軍記物…戦記文学 ※『³⁵将門記』(平将門の乱を題材 100成立?)はその先駆

<例> 『³⁶陸奥話記』(陸奥物語)』…³⁷前九年の役を題材

説話文学…庶民の生活・信仰など 仏教・儒教的色彩

<例> 『³⁸今昔物語集』…源隆国作 和漢混淆文 こんこう

天竺(インド)・震旦(中国)・本朝(日本)の1000余の説話

『³⁹江談抄(水言抄)』…⁴⁰大江匡房の談話を筆録 こうだんしょう

※神仏習合思想の発展 ⁴¹本地垂迹説…神は仏が仮の姿で現れたものとする 平安時代に発展

<例> 天照皇太神 = 大日如来 あまてらすおおみかみ 八幡神 = 阿弥陀如来 はちまん

作業 図表110ページを見て地名の位置を示しなさい。



正誤問題練習 <大学入試センター1990年本試験、1998年A本試験>

- ①後白河上皇は、浄土とみたてた信貴山にしばしば参詣し、その記録として『信貴山縁起絵巻』を作らせた。
- ②平泉の中尊寺金色堂には、黄金をふんだんに用いた精巧・壮麗な装飾がみられ、都に劣らない高い技術の導入が知られる。○